

ぐうしつづれおり
 『藕絲綴織 経本数珠入れ』 新製品 発表

蓮で染める「藕絲」を開発し、それを製織した「藕絲綴織 経本数珠入れ」を数量限定にて5月より販売開始いたします。

古来より仏事品には蓮の製糸を使った織物がみられますが、その特性により織物にするのは大変難しく貴重なものでした。

当製品は、歴史的につづれ織の聖地とされている奈良県葛城市の「當麻寺」にある蓮を譲り受けることができ、その蓮を使い「當麻寺中の坊」に残されている約300年前の蓮糸で織られた袈裟の色を再現することに成功しました。そして西陣織伝統技法の「綴織」で生地を織り、手縫いで袈裟仕様の経本数珠入れを仕立てました。



- ・よどみの泥沼から蓮は美しい花を咲かせる。それを見てお釈迦様が悟りを開き仏教を説いたとされています。蓮と仏教とのつながりは2000年もの歴史があり蓮の糸は極楽往生の縁を結ぶと言われています。
- ・綴織は日本で最も古い技法で品格の高い織物とされており、當麻寺にある當麻曼荼羅は綴織で日本に現存する最古（763年頃）のもので国宝の指定を受けています。
- ・約300年前の藕絲製の袈裟の色を再現するため、130年続く京都の染色工房と共同開発し、絹糸を蓮で染めるのに成功しました。ここでは蓮の染料で染めた絹糸の事を「藕絲」と表記しています。
- ・當麻寺中之坊松村院主はじめ、当地で蓮糸プロジェクト「はず Lab」を展開されている方々のご協力により実現いたしました。

「當麻寺」 「京の染師」 「つづれ織」 「手縫いの技術」

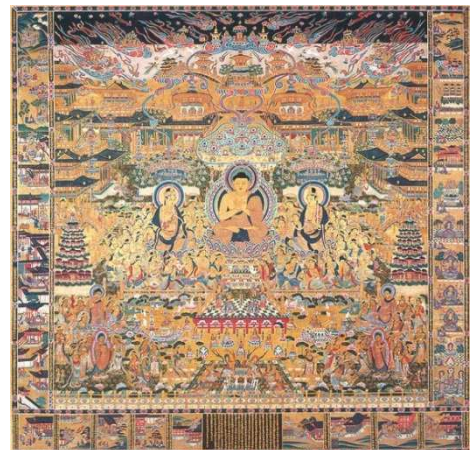
これらの歴史文化・伝統技術が相重なる事で『藕絲綴織経本数珠入れ』が出来上がりました。蓮の染料に限りがあるので80個限定になります。全国の百貨店で展開を予定しています。

お問い合わせ先

石川つばれ株式会社
 専務取締役 河津英樹
 Tel : 075 - 461 - 1161
 平日 9 : 00 ~ 17 : 00

【アクセス】

京都市北区平野宮本町 83 番地
 京福電車「北野白梅町」下車徒歩 5 分
 市バス「衣笠校前」下車徒歩 1 分
 ホームページ <http://tuzureori.com/>



国宝：當麻曼荼羅